

2023年、コープあおもりは30周年を迎えます。

2023年3月21日に、コープあおもりは30周年を迎えます。そのため30周年の2023年をお祝いする準備を現在進めています。

そのことから、色々な写真や資料が倉庫から出てきました。今回は、古い写真や資料をみながら少しタイムスリップしたいと思います。



第一回通常総代会の様子

コープあおもりは、1993年に、青森県内の3つの生協（青森市民生協、弘前市民生協、八戸市民生協）の合併により誕生しました。

合併した3つの市民生協は、1973年の第一次石油危機（オイルショック）を契機に地域生協設立の期待が高まったことから、1975年～1976年にかけて誕生した生協でした。そのことから、第一回通常総代会資料では「きょうだい生協」と例えられています。そのため、合併以前から、共同購入事業（現在の宅配事業）や店舗事業、組合員活動を連帯して行っていました。



浪岡合同センターは、1989年に生協間の連帯により作られたセンターです。

合併当初の組合員数は、約5万8,000人でした。現在のコープあおもりの組合員数は約16万人（2023年1月20日現在）なので、30年前よりも多くの方にコープあおもりを利用いただいています。

「生活協同組合コープあおもり」の名称は、新生協の名称募集を行い、各生協共通で最も応募の多かった現在の名称に決定されています。

1993年の7月2日には、八戸市類家に、るいけ店がオープンします。るいけ店は、2023年、コープあおもりと同じく30周年です。はばたき第2号によると、開店初日の来店者数は5,197人ととてもにぎわった様子が伝わってきます。

しかしながら、同年に、八戸市城下にあった城下店が18年の営業に幕を閉じ、閉店しています。



1993年に開店したるいけ店（左、コープあおもり内報より）と同年に18年の営業に幕を閉じた城下店（右、はばたき第6号より）

今回は、1993年にすこしタイムスリップしました。第1回目ということもあり、1993年のみを扱いましたが、今後は、5年を一括りにして、少しずつ2023年に近づいていきたいと思っています。

当時を知る職員も少しずつ定年退職などで少なくなっているため、資料と写真でしか、当時を見ることはできません。もし、「合併の時、こんなことがあった。」といった30年前のことを知っている方がいらっしゃれば、教えてもらえればと思います。

1993年発行のはばたきから



サンウィークのつどい



PL法（製造物責任法）の制定を求めて行動していました



店舗でトレー回収が始まりました。



佐井村に親子で訪問するツアーを実施していました。